

教育方針

国際社会に貢献できるリーダーを育てる

心豊かなリーダーを育てる

創造力・自己発信能力をもったリーダーを育てる

技術・家庭科が育てたい児童・生徒像

基本的な生活技術と生活習慣を身に付けられる生徒

5年

家庭

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4月	・ガイダンス 「私の生活、大発見！」	1、1日の生活から家族の存在、家庭の仕事を知る 2、家庭科室を探検 お茶をいれる 3、自分にできることをみつけて実践する	お家の人にどんな仕事をしてもらいたいインタビューをし、計画と実践する【Ⅰ】
5月	「おいしい楽しい調理の力」	1、料理の作り方を考えよう 2、ゆでる調理をしよう 3、工夫しておいしい料理にしよう	調理をするるとどのようなよい点があるのか話し合い発表する【Ⅲ】 ゆでサラダをつくり野菜によるゆで方の違い、変化を調べる【Ⅰ】 後片付けができたか食器の汚れを可視化する【Ⅰ】 調理実習のメニューは、「自分が作ったレシピ集」としてロイロノートにまとめる【Ⅲ】
6月	「食べて元気！ご飯とみそ汁」 ※集中授業「ご飯、みそ汁、お茶」	1、毎日の食事を見つめよう 2、ご飯とみそ汁を作ろう 3、栄養素の働きを知ろう 4、毎日の食生活に生かそう	食品を組み合わせ食べている理由を考える【Ⅰ】 お家で食べているお米とみそ汁のみそを発表し 日本地図で分布を作成する【Ⅱ】 炊飯時水や米の様子を予想し観察する【Ⅰ】
7月	「ひと針に心をこめて」 ※集中授業「基礎縫い練習」 ※夏休み集中	1、針と糸を使ってできる事を探そう 2、裁縫用具を大切に安全に使う	日常で使っている布製品は、自分の代わりに作っている人がいることを学ぶ【Ⅱ】
9月		3、手ぬいにトライ！（玉止め、玉結び、並縫い） 4、基礎縫い練習（本返し縫い、半返し縫い、かがり縫い） 5、ボタンをつけよう（二つ穴、四つ穴、足つき）	実際の生活で使える場面を考えながら、基礎縫いを習得する【Ⅲ】
10月	「思いを形にして生活を豊かに」	5、小物作りをしよう 6、生活に役立つものを手縫いでつくる	基礎縫いを使い、フェルトで自分が使いやすい小物入れをつくる お家でお手伝いをするときに便利な布製品は、何かあるかを考え、実際につくる【Ⅲ】
11月		7、工夫して製作する	長く使えるように丈夫に作るにはどうすればよいか考え工夫する【Ⅰ】
12月	「物を生かして住みやすく」	1、身の回りの物や生活の場を見つめよう 2、身の回りをきれいにしよう 3、物を生かして快適に生活しよう	自分の持ち物やロッカーを整理整頓の手順にそって行い工夫したことを発表し取り入れる【Ⅰ】【Ⅲ】 学校内の汚れを調べ記録し、毎日の掃除の問題点、改善点を話し合いまとめ他学年に共有する【Ⅰ】
1月	「物を生かして住みやすく」 「持続可能な暮らしへ物やお金の使い方」	1、お金の使い方を見つめよう	実践どのような効果が出たかまとめる【Ⅰ】 お金の使い方、消費者の役割について考えるために自分のために使ったお金を表にしお金をどのくらい使っているか知り、見直す点はあるか考える【Ⅰ】【Ⅱ】
2月	「めざそう買い物名人」	2、上手に選ぶために考えよう 3、買い物の仕方について考えよう 3、上手に暮らそう	契約が成立する場面を考え買い物することは、契約の1つと理解し買い物方法や支払いの方法を考える【Ⅰ】【Ⅱ】
3月	1年間を見つめよう	・できるようになったことを発表しよう	

教育方針

国際社会に貢献できるリーダーを育てる

心豊かなリーダーを育てる

創造力・自己発信能力をもったリーダーを育てる

技術・家庭科が育てたい児童・生徒像

基本的な生活技術と生活習慣を身に付けられる生徒

6年 家庭

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4月	・ガイダンス(5年生の復習) 「みつめてみよう生活時間」	1、時間の使い方を工夫しよう 1、毎日の朝食をふり返ろう	1年前の生活時間とお手伝いの種類を比較し、自分の生活時間を見直し家庭での仕事をしているか話し合い改善する【Ⅰ】
5月	「朝食から健康な1日の生活を」	2、栄養バランスを考えよう 3、朝食から健康な生活を始めよう 4、いためる調理をしよう	食材は6つの食品群に分類できることを学び、朝食の食品を分類し栄養の偏りがないか調べバランスがよくなるようにもう一品考える【Ⅰ】 食材により炒め方を工夫し、油の種類によってどのような変化があるのか比較しクラスごとの好みをまとめる【Ⅰ】【Ⅱ】
6月	「夏をすずしくさわやかに」 ※集中授業「いためる料理」	1、夏の生活を見つめよう 2、すずしくさわやかな住まい方や着方をしよう 3、手洗いで洗濯をしよう	校内・教室内で涼しい場所を探し気温、風通しについて調べ効率のよい換気の仕方、熱中症対策、涼しい衣服の着方についてまとめ他学年に共有する【Ⅰ】【Ⅱ】【Ⅲ】
7月	※夏休み集中 「ミシンにトライ！手作りで楽しい生活」	4、夏の生活を工夫しよう	夏の生活の特徴や工夫の仕方を学び自分で取り組みできることを考え、お家やteam実践したことを発表する【Ⅰ】【Ⅲ】
9月	「ミシンにトライ！手作りで楽しい生活」	1、目的に合った形や大きさとぬい方を考えよう 布の種類や性質を学ぶ 2、ミシンにトライ！ 3、ミシン練習	布の性質と特徴を調べまとめる【Ⅳ】 ミシンの構造を知り 安全なミシンの使い方を身につける【Ⅲ】
10月	「思いを形にして生活を豊かに」	4、計画を立てて製作しよう 5、ミシンで作品を作ろう	基礎縫いを使い、フェルトで自分が使いやすい小物入れをつくる お家でお手伝いをするときに便利な布製品は、何があるかを考え、実際に作る【Ⅲ】
11月		6、7、ミシンで作品を作ろう	材料を無駄にせず、ていねいに作品をつくる【Ⅲ】
12月	「冬を明るく暖かく」 ※集中授業「ミシン作品作り」	1、冬の生活を見つめよう 2、快適な住まい方 3、冬の生活を工夫しよう	自分の持ち物やロッカーを整理整頓の手順にそって行い工夫したことを発表し取り入れる【Ⅰ】【Ⅲ】 学校内の汚れを調べ記録し、毎日の掃除の問題点、改善点を話し合いまとめ他学年に共有する【Ⅰ】
1月	「まかせてね今日の食事」	1、1食分の献立を工夫しよう 2、家族が喜ぶ食事を作ろう 3、楽しく食事するために工夫しよう	家族が喜ぶ食事を相手の立場になって考える【Ⅰ】 5年「持続可能な暮らしへ物やお金の使い方」をふまえて材料の準備の仕方を考える【Ⅰ】【Ⅲ】
2月	「まかせてね今日の食事」 「あなたは家庭や地域の宝物」	3、楽しく食事するために工夫しよう 家族の一員として家庭や地域でできること心のつながりを深めようもつとかがやくこれからの私達	
3月	・一年間のまとめ ※集中授業「1食分料理」		

教育方針

国際社会に貢献できるリーダーを育てる

心豊かなリーダーを育てる

創造力・自己発信能力をもったリーダーを育てる

技術・家庭科が育てたい児童・生徒像

・自分らしく自立した生活を送り、周りに配慮できる生徒
・試行錯誤を繰り返して、問題の発見と改善に取り組む生徒

7年 家庭

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4月	・ガイダンスと振り返り 「自立を目指して学ぼう」 ○食生活と自立「健康と食生活」	1、食事の役割について考える 2、生活のリズムと食事	ライフスタイルの多様化による食事の変容についてまとめる [Ⅰ][Ⅱ] 健康的に過ごすための生活習慣を考え実際にその生活を送り体と心にどのような変化があるかまとめる[Ⅰ]
5月	「健康と食生活」	3、中学生に必要な栄養 4、食品と栄養素(1)	食べたものは体の中でどのように働いているのか学びグループで一つの器官ごとにまとめる[Ⅰ]
6月	「健康と食生活」	5、食品と栄養素(2) 6、水分と食物繊維 7、食事の計画(1)	食品に含まれる成分を目で見つけて確かめる[Ⅰ][Ⅲ] PFC/バランスの変化や違いから暮らしや体形の変化を考える [Ⅰ][Ⅱ]
7月	「食事の選択と保存」	8、食事の計画(2) 1、食品が口に入るまで 2、生鮮食品と加工食品(1)	栄養バランスの他に調理法、季節感、費用なども考え、実際に自分が献立で決めた量通りの材料を使い1日分の1食分をつくり問題点改善点をまとめる[Ⅰ][Ⅳ]
9月	「食事の選択と保存」	3、生鮮食品と加工食品(2) 4、食品の表示(1) 5、食品の表示(2)	生鮮食品と季節の関係性について考え、1年中出回っている食品の旬を調べまとめる[Ⅰ][Ⅲ]
10月	「食事の選択と保存」	6、食品の選択・購入と保存(1) 7、食品の選択・購入と保存(2) 8、食品の安全と情報	基礎縫いを使い、フェルトで自分が使いやすい小物入れをつくる お家でお手伝いをするときに便利な布製品は、何があるかを考え、実際につくる[Ⅲ]
11月	「調理をしよう」	1、調理の計画 2、調理の基本(1) 3、調理の基本(1)	おいしさとは何か、普段の生活や実験を通して考える 食中毒の特徴と発生状況について調べまとめ調理実習の際に対策できるようにする[Ⅰ][Ⅲ]
12月	「調理をしよう」	4、5、肉の調理 6、魚の調理	自分の持ち物やロッカーを整理整頓の順番にそって行い工夫したことを発表し取り入れる[Ⅰ][Ⅲ] 学校内の汚れを調べ記録し、毎日の掃除の問題点、改善点を話し合いまとめ他学年に共有する[Ⅰ]
1月		6、7魚の調理 8、9野菜の調理	魚介類の消費量の変化について調べ、近年の販売方法の変化を調べまとめる[Ⅰ] 新鮮な野菜の選び方をグループごとにまとめ、実際に使えるよう発表する[Ⅰ]
2月	「地域の食材と食文化」	1、地域の食材と郷土料理 2、受け継がれる食文化 3、地域と世界へ向けて	お家で作られるおせち料理、雑煮について特徴を調べどのような違いがあるのかまとめる 雑煮については日本地図で分布を作成する[Ⅰ][Ⅲ]
3月	一年間のまとめ ※集中授業		

教育方針

国際社会に貢献できるリーダーを育てる

心豊かなリーダーを育てる

創造力・自己発信能力をもったリーダーを育てる

技術・家庭科が育てたい児童・生徒像

- ・自分らしく自立した生活を送り、周りに配慮できる生徒
- ・試行錯誤を繰り返し、問題の発見と改善に取り組む生徒

8年

家庭

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4月	・ガイダンス ○衣生活・住生活と自立 「住まいのはたらき」	1、住まいのさまざまな役割 2、家族の生活と住まい	家族が心地よく過ごすためのルールを考え共有し 実生活に取り入れる【Ⅰ】
5月	「住まいのはたらき」	3、安全な住まい方の工夫 4、健康を守る住まい方の工夫 5、地域に配慮した住まい方	高齢者や幼児の身体と行動の特徴について考え 家庭内で安全に住むためにどのような工夫ができるか 考えグループでまとめ発表する【Ⅰ】【Ⅲ】 多様なライフスタイルによって起こる生活騒音を減らす工夫を考える【Ⅰ】【Ⅱ】
6月	「自立した衣生活のために」	6、災害への備え 1、衣生活のサイクル 1、衣服のはたらき	防災セットの中身がなぜ必要なのか考えコロナ禍の 避難生活に必要なことを考える【Ⅰ】
7月	「衣服の着用」	2、自分らしく目的に合わせた着方 3、TPOコーディネート 4、衣服の活用と選び方	自分らしく着るために、コーディネートを左右する 要素は何か考える【Ⅰ】【Ⅲ】 自分のパーソナルカラーを見つけ実生活に取り入れる 【Ⅰ】【Ⅲ】 既製服の選び方を知り購入方法に応じて試着の必要性につ いて考える【Ⅰ】
9月	「衣服の入手、手入れ」	1、汚れと手入れ 2、手入れと表示 3、取扱い絵表示	手洗いと洗濯機での洗濯ではどのようなよい点悪い点は何か 考える【Ⅰ】 実物の衣類と洗剤を見て、何をどれで洗えばよいのか考える ために表示を見ることを学び自分で選ぶ【Ⅰ】【Ⅱ】
10月	「衣服の入手、手入れ」	4、いろいろな繊維 5、衣類の洗濯 6、衣類の補修とアイロンかけ	基礎縫いを使い、フェルトで自分が使いやすい小物入れ をつくる お家でお手伝いをするときに便利な布製品は、何が あるかを考え、実際につくる【Ⅲ】
11月	「生活を豊かにする工夫」	製作実習の基礎	服がほころびた時にどのような対処ができるか方法を 考え実際に補修をする【Ⅲ】
12月	「生活を豊かにする工夫」	製作実習の基礎 「生活の豊かさ」とは何かを考える アップサイクルとは何か、アップサイクルのアイ ディア、材料等を調べて情報を共有する	自分の持ち物やロッカーを整理整頓の手順にそって行 い工夫したことを発表し取り入れる【Ⅰ】【Ⅲ】 学校内の汚れを調べ記録し、毎日の掃除の問題点、改 善点を話し合いまとめ他学年に共有する【Ⅰ】
1月	「衣服を再利用した製作」	製作のコンセプトを考える 製作計画を立て話し合いをし製作計画を完成させ る	材料(古着等)を用意しアップサイクルの工夫時間の見 通しを含め製作計画を立てる【Ⅲ】
2月	「衣服を再利用した製作」	製作・プレゼン	企画に沿った作品をつくる【Ⅱ】 プレゼンはジグソー班で発表する。相互評価として 「いいね！」シールを貼る【Ⅰ】【Ⅱ】【Ⅲ】
3月	一年間のまとめ ※集中授業「まとめ」		

教育方針

国際社会に貢献できるリーダーを育てる

心豊かなリーダーを育てる

創造力・自己発信能力をもったリーダーを育てる

技術・家庭科が育てたい児童・生徒像

- ・自分らしく自立した生活を送り、周りに配慮できる生徒
- ・試行錯誤を繰り返し、問題の発見と改善に取り組む生徒

7年

技術

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4月	ガイダンス	身近な生活の中にもさまざまな技術が活かされていることに関心を持ちその役割に気づく。	【Ⅰ】技術がもたらした便利さと課題を考える。
5月	ものづくりの視点と進め方	技術の進歩に気づき、身の回りの製品にあるさまざまな視点の工夫について考える。	【Ⅰ】昔の製品と比較することで工夫に気づき考える。
6月	材料設計	材料と環境のかかわり方を知り、材料の使い方について考える。 製作品を図に表す方法を理解し、正しくかきあらわすことができる	
7月	木材による製作 ※夏休み宿題(栽培)	けがきの役割と切りしろ・けずりしろの必要性を知り、正確にけがきがができる。	【Ⅲ】生物育成の技術の見方・考え方を意識しながら問題解決を行う。
9月	情報とわたしたちの生活	生活や社会を向上させている、情報に関する技術に気づく。 コンピュータが情報を処理するしくみを知る。	【Ⅰ】身近な製品やサービスを通して技術の工夫に気づき考える。
10月	プログラムによる計測・制御	身の回りの機器がコンピュータによって計測・制御されていることに気づく	基礎縫いを使い、フェルトで自分が使いやすい小物入れをつくる お家でお手伝いをするときに便利な布製品は、何かあるかを考え、実際につくる【Ⅲ】
11月	プログラムによる計測・制御	情報を処理する手順を知り、目的に合った手順を考える。	
12月	プログラムによる計測・制御	計測・制御に合うプログラムを作成することができる。	自分の持ち物やロッカーを整理整頓の手順にそって行い工夫したことを発表し取り入れる【Ⅰ】【Ⅲ】 学校内の汚れを調べ記録し、毎日の掃除の問題点、改善点を話し合いまとめ他学年に共有する【Ⅰ】
1月	木材による製作	木材を切断する工具や機器の仕組みを理解し、正確に切断ができる。	
2月	木材による製作	組立ての手順と接合方法について理解し、工具や機器を適切に使用して、正確に組立てができる。	
3月	技術とものづくり(まとめ) 1年間のまとめ		【Ⅳ】生徒自身の問題解決を振り返らせながら、技術に必要な見方・考え方に気づかせる。

教育方針

国際社会に貢献できるリーダーを育てる

心豊かなリーダーを育てる

創造力・自己発信能力をもったリーダーを育てる

技術・家庭科が育てたい児童・生徒像

- ・自分らしく自立した生活を送り、周りに配慮できる生徒
- ・試行錯誤を繰り返し、問題の発見と改善に取り組む生徒

8年

技術

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4月	わたしたちの生活とエネルギー変換	人間がどのようにエネルギーを利用してきたかを考え、エネルギーの利用にはさまざまな技術が必要なことを知る	【Ⅰ】身近な製品を通して技術の工夫に気づかせる。
5月	電気エネルギーの利用	わたしたちが利用している電源の特徴を知り、どのように使い分ければよいかを考える ※テーブルタップ(タップ)	
6月	エネルギーの変換の実際	電気機器の定格について知り機器の安全な利用法について考える。 ※テーブルタップ(プラグ)	【Ⅳ】理科の学習を確認しながら教科の横のつながりに気づかせる。
7月	エネルギー変換とその利用 ※夏休みの宿題(栽培Ⅱ)	機器の手入れや点検について知り、事故防止の具体的な方法を身につける。 ※電気はんだて	【Ⅰ】環境と管理作業を関連させて考える
9月	情報通信ネットワークの利用	情報通信ネットワークの構成を知る。	【Ⅲ】情報技術の見方・考え方を意識させながら問題解決を行う。
10月	情報通信ネットワークと情報セキュリティ	情報通信ネットワークで情報を伝えるしくみを知る。	基礎縫いを使い、フェルトで自分が使いやすい小物入れをつくる お家でお手伝いをするときに便利な布製品は、何かあるかを考え、実際につくる【Ⅲ】
11月	プログラムによる計測・制御	計測・制御に合うプログラムを作成することができる。	【Ⅲ】目的に応じて、入力、処理、出力やシステム構成などの要素を構想して設計する。
12月	情報に関する技術の評価・活用	情報に関する技術が、社会・環境に果たしている役割と影響についての理解を深める。	自分の持ち物やロッカーを整理整頓の手順にそって行い工夫したことを発表し取り入れる【Ⅰ】【Ⅲ】 学校内の汚れを調べ記録し、毎日の掃除の問題点、改善点を話し合いまとめ他学年に共有する【Ⅰ】
1月	電気エネルギーの利用	電気エネルギーを変換して利用するための仕組みを理解し、機器の仕組みを説明できる。	
2月	エネルギー変換の実際	エネルギー変換に関する技術が、社会や環境に果たしている役割と環境について理解を深める。	【Ⅳ】エネルギー変換の技術の見方・考え方を意識させながら問題解決を行う。
3月	2年間のまとめ		【Ⅳ】生徒自身の問題解決を振り返らせながら、技術に必要な見方・考え方に気づかせる。